



「原発ゼロ」発信します

東京から

前都議会議員(中野区)

うえき・こうじ

植木 こうじ

日本共産党

深刻な福島第1原発の汚染水問題など 共産党が政府、東電のずさんな対応を追及



▲汚染水貯蔵タンク群を見上げる志位和夫委員長(中央)ら日本共産党の視察団(3月9日)。現地は、毎日400トンずつ増える汚染水で、いまや原発敷地全体が「肥大化し続ける汚染水貯蔵庫」に様変わりしつつあります。

日本共産党の井上哲士議員が4月23日の参院予算委員会で、「収束」にはほど遠い福島第1原発の実態をとり上げ、東電と政府のずさんな対応を追及しました。

福島原発では汚染水漏れ事故が重大な問題です。東電は防水シート破損が起こりうると知りながら使い続け、また旧原子力保安院もそれを容認してきました。ネズミー匹で深刻な停電事故もおこしています。こんな深刻な状態なのに安倍首相は福島第一原発廃炉対策推進会議で「(原発が)安定状態を継続している」と確認しています。これではまともな対策などとれません。

共産党は「収束宣言を撤回し、政府が本腰をいれた対策をとるべきだ」と追及しました。

再稼働をねらうなんて許せません。 力をあわせ「原発ゼロ」を実現しましょう

原発事故でいまだに15万人の方が避難しており、ほんとうに心が痛みます。それなのに、安倍政権は、原発再稼働にむけた動きを加速させています。福島原発の事故原因の究明すらされていないのに、再稼働など論外です。

原発と人類が共存できないことは、なにより福島

原発事故の現状が物語っています

今こそ政府に原発ゼロの政治決断を迫りましょう。私は、子どもたちと都民を放射能から守るとともに、首都東京から、「原発即時ゼロ」、自然エネルギー中心、低エネルギー社会への道をきりひらく先頭にたってがんばります。



毎週の官邸前行動などに参加し「原発ゼロ」を訴え続けています。政治を変え、原発ゼロを実現しましょう。

←「原発ゼロ大行動」で訴える(3月10日)



参議院東京選挙区予定候補

きら・よしこ

吉良よし子

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2013年5月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日第三種郵便物認可

「しんぶん赤旗」や「東京民報」を
ぜひお読みください